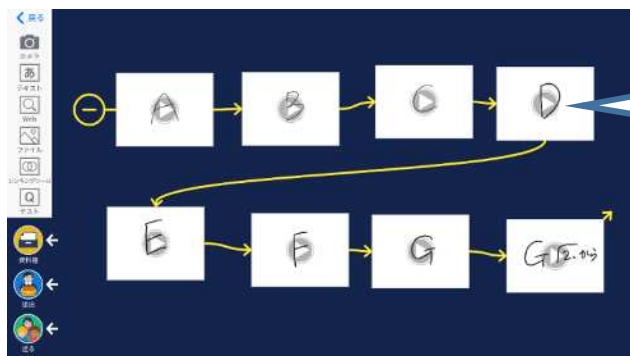


- 【題材名】 小学校6学年 音楽 「音楽会の練習」
- 【内容】 ロイロノートで演奏手本音源を聴きながら、自分のパートの練習をする。
- 【使用アプリ】 ロイロノート
- 【事例紹介】 音楽会に向けて、教師が録音した手本音源を聞きながら練習することによって、それぞれのパートに分かれて練習をする6年生が、個別での練習をしやすくする。



ロイロノートのスクリーンショットです。セッションごとの再生ボタンを押せば、手本音源が流れます。

休み時間には、手本音源を聞きながら、自主的に練習する児童の姿が見られました。



【解説】 手本音源を作成したのは、演奏する人数が多く、音楽が得意ではない児童が複数人いたりコーダーと鍵盤ハーモニカの2パートである。楽譜を読むのが得意ではない児童は、実際に音を聴いて、まねをしながら練習することで、楽譜を見て演奏したり言葉で説明されたりするよりも、覚えが早くなった。授業中は、教師が実際に手本を演奏して聴かせることも可能だが、休み時間などはできない。手本音源を用意し、いつでも聞けるようにしておくことで、児童一人一人の都合のよいタイミングで音を聞きながら練習をすることができた。また、音源を楽譜のセッションごとに分けることで、それぞれの習熟度や理解度に合わせて練習することができた。

(教育委員会主幹講評) ロイロノートの録音機能を活用しての「個に応じた学び」の実現事例です。音源を用意する手間は少しかかりますが、ロイロノートでは簡単に用意ができます。録画も簡単ですから、先生方の創意工夫で、体育の師範ビデオや家庭科の手順ビデオなどを作製して「個に応じた学び」の実現が可能になりました。また、解説にあるように休み時間などの自分のタイミングで練習でき、習熟度に合わせた練習が可能で、学びの場の広がりや個に応じた深い学びにもつながります。良い事例報告ありがとうございました。

ロイロノートには、自作した動画や教材を校内や市内の先生と共有する機能があります。資料箱の共有フォルダを有効活用して、自作教材のデータベースができることを期待しています。(次号へ)